

2024 年度 工学院大学体育会 総括

工学院大学体育会
会長 寺島壮太郎



1. 組織構成
2024 年度工学院大学体育会は、工学院大学体育会所属の部活動・同好会(以下、本会所属団体)により構成される。体育会役員は、本会所属団体の中から選定された以下 23 名で構成される。

会長 1 名	副会長 1 名
会計 1 名	会計補佐 1 名
広報長 1 名	広報 5 名
如蘭編集長 1 名	如蘭 5 名
体育実行委員長 1 名	体育祭 6 名

2. 方針

2024 年度体育会は本会所属団体を通じ、本学の活性化を図ることを目的として活動した。その為、体育会役員をはじめ、本会所属団体との連絡の強化と目的・現状の共通理解を徹底した。また規約の改訂を行い、役員の部活動生活に柔軟に対応することと、次年度以降への引継ぎを円滑に行うことを前提とした活動を行った。その上で、本会所属団体を通じ、本学の活性化に貢献した。

3. 目的

本会は本会所属団体を統合し、体育活動を通じた学園生活の充実・向上、並びに発展を意義とする。また、役員会の意識の統合、役員間の意思の疎通、体育会全体での意図の理解によって部活・運動を通じた本学の活性化を図ることを目的に活動した。

4. 活動内容

「体育会役員同士の連携の強化」

24 年度本会への移行するにあたり、23 年度の役員を各部署から 1 名以上継続して任命することで、各部署に 1 年間その部署を経験した役員がいる状況を構築し、役員同士の連携を促進した。その上でデータ管理や記録などの活動を行った。

「カルテ」

本会所属団体の発展を記録分析し、団体の引継ぎと問題点解決を補助するための書類である。6 月頃に新年度予定や人事を記入し回収した。12 月頃に後期の分の活動結果を記入し再度提出する書類である。本書類によって、本会所属団体の活動状況の把握などを行うことが出来た。

「如蘭(JORUN)作成」

新入生向けに発行される体育会の広報誌である。カルテを含む本会所属団体から提出される情報を基に作成する本会所属団体の活動を分かりやすく掲載し魅力を伝えた。1 年を通し本会所属団体の情報や掲載写真の提出を促した。

本会担当役員たちと発注企業様との協力によって、本会所属団体の活動日・写真などの詳しい情報を伝え、新入生は自分にあった部活を探す事をサポートした。新入生が参考する情報源とし、新入部員数増加を促進し、体育会の活性化を図った。

「体育祭運営」

体育の日を利用し、学生がスポーツを通じ、健康かつ充実した学園生活の促しを目的とする。大学生活で減りがちなスポーツをする機会の提供、学生間の交流を深めるため行った。景品にはお菓子の詰め合わせセットを用意し、参加賞には協賛品として賜った ZONE エナジーを配布した。結果として合計で 51 名の参加が確認できた。このうち 36 名に満足度アンケートを行い、72.2%が「とても良かった」27.8%が「良かった」という回答を頂いたため、2024 年度の体育祭は成功することが出来た。

「役員会」 「部長会議」

規約の改訂や役員会によって提出された議題、本会所属団体への処分などを審議する会議である。役員会で可決された議題が部長会へ提出され、部長会議で可決された内容を最終的な決定とする。今年度はワンダーフオーゲル部の休部が可決された。

「体育会総会」

例年 7 月に本会所属団体の代表が集まり、重要な決議・報告を行う集会である。予算の報告を行い、賛成多数で可決された。また今後体育会から連絡する内容を可能な限り伝えた。

「試合着の統一」

本会所属の各部の試合で着用されているユニフォームを、工学院大学のスクールカラーである「青」「黄」に統一するというプロジェクトである。それにより、工学院大学体育会として一体感を持たせることができる。また、体育会というブランドとして、本会の PR を図った。2024 年度は剣道部やバレーボール部のユニフォームの作成に携わった。

「ブランドグッズ製作」

工学院大学のスクールカラーである「青」「黄」と本会提唱ロゴのあるグッズを製作するプロジェクトである。工学院大学公認ブランドを目指し、知名度を上げることにより、新入生の興味を引く大学のイメージを作り、新入生を増加し新入部員数の増加を図った。

「公式 SNS の運営」

本会役員会の担当者によって運営するものである。主に X(旧 Twitter)を用いて、本会所属団体や他団体の広報活動を新入生などの目に触れることを容易にするために行った。特に体育祭についての情報発信を行った。

5. 活動の成果

今年度は昨年度立て直した体育会の組織力を軌道に乗せる年であった。特に昨年度から継続して役員を務めた各部署の役員のおかげで、大きなトラブルもなく円滑に活動を行うことが出来た。次年度はより安定した軌道に乗せることができるように活動を行いたい。

以上を 2024 年度工学院大学体育会の総括とする。